

屋久島産植物寄生菌調査報告

香 月 繁 孝

福岡県農業改良課

Katsuki, S.: Report on parasitic fungi collected in the Island of Yaku.

屋久島は生物地理学上興味深く、これ迄多くの生物学者の注意を引いたものであるが、終戦後日本が30度線に限られる事になつてから一般の人々にも急に此の島に対する関心が高まつてきた。特に鹿児島県では昭和23年に大隅、熊毛開発調査会が設置され、本島の特殊条件である亜熱帯環境下において豊富な資源を開発して、日本経済の再建に寄与せんとして各部門の科学的調査が行われ貴重な報告が公表されている。又本島の高等植物に関しては多くの研究者によつて既に学界に報告されているが、植物寄生菌の分布については全く報告を見ないようである。私は昨年10月同島を訪れ12日間滞在して相当広範囲に亘つて調査を試み、約250種余の寄生菌を採集しこれ迄に漸く108種同定することが出来たので、其の概要を報告する。本研究に当り、特に御指導を仰いだ富樫博士、吉井博士、平塚博士、西門博士、内藤教授、深野技師に衷心から謝意を表する。

調 査 地 点

宮之浦、楠川、船行、安房、安生、原、尾之間、小島、本富島、小杉谷、花の江河、宮之浦島。

調 査 結 果

植物寄生菌一覽表

	種類数	新 種	日本新報知種
藻菌類	1	—	—
子囊菌類	18	—	—
担子菌類	47	1	—
不完全菌類	42	1	4
計	108	2	4

これを科属別に分類すると次の通りである。(括弧内は寄主名)

- (1) Albuginaceae 白銹菌科 *Albugo* (イノコズチ).
 (2) Erysiphaceae 粉菌科 *Erysiphe* (オホバコ).
Sphaerotheca (キウリ, クサギ).

- (3) Phacidiaceae 黒脂菌科 *Cryptomycina* (ヘゴ, オホキシノヲ). *Rhytisma* (シマウリカヘデ, サクラツツジ).
 (4) Hysteriaceae ヒステリウム科 *Aulographum* (ハイノキ).
 (5) Dothidiaceae 瘡状菌科 *Phyllachora* (ギョウギシバ, アコウ, カモノハシ, マダケ, イタチガヤ, ササキビ, チガヤ, ヤクシマダケ, コウライシバ), *Ophiodothis* (スズメノヒエ).
 (6) Mycosphaerellaceae 小球殻菌科 *Mycosphaerella* (ヒメユズリハ).
 (7) Ustilaginaceae 黒黴菌科 *Sphacelotheca* (イヌタデ). *Sorosporium* (ハイキビ, スズメノヒエ).
 (8) Melampsoraceae 層生銹菌科 *Uredinopsis* (ワラビ). *Pucciniastrum* (キンミズヒキ, ゴトウズル, ヤマボウシ). *Melampsora* (イヌガンビ). *Phakopsora* (シマヒヨドリ, イヌビハ, クズ).
 (9) Coleosporiaceae 内生銹菌科 *Coleosporium* (エビネ, コヤブタバコ, コボタンズル, アマクサギ, ヘクソカズラ, シソ, フキ, ヒキヲコシ, イヌザンセウ). *Ochropsora* (アキグミ).
 (10) Pucciniaceae 柄生銹菌科 *Mainsia* (フユイチゴ). *Kuehneola* (テリハノイバラ, オホムラサキシキブ). *Uromyces* (マルバハギ, ツユクサ, ヤハズソウ, モミジカラスウリ, ハイキビ, ネズミノヲ). *Puccinia* (ヒメアブラサスキ, オニタピラコ, オトコヘシ, ススキ, キツネノマゴ, サルトリイバラ, アキメヒシバ, セリ, オガルガヤ, ハマボウフ, ツルソバ, アシボソ, シバ, スズメノヒエ, イタチガヤ).
 (11) Uredinales Imperfecti 不完全銹菌 *Aecidium* (タブ). *Uredo* (ヤマグハ).
 (12) Sphaeropsidaceae 擬球殻菌科 *Phyllosticta* (サツマイモ, ビハ, ウラジロエノキ, サトウキビ, クマタケラン). *Septoria* (ツルリンドウ, ツハブキ, ツボクサ, ウスベニガナ, シマヒヨドリ).

(13) Melanconiaceae 黒粉菌科 *Gloeosporium* (ヤマイモ). *Cylindrosporium* (ヤマイモ). *Colletotrichum* (キビ).

(14) Dematiaceae 黒糸菌科 *Cercospora* (イノコズチ, アブラギリ, メダラ, タラノキ, ウラジロフジウツギ, ツユクサ, ムラサキヨモギ, アマクサギ, ヤマグワ, ムクゲ, チドメグサ, ノアサガホ, カキ, マルバハギ, アカメガシハ, ケウチクトウ, カヘデドコロ, トペラ, ツルソバ, ミゾソバ, ハナミヨウガ, ホウロクイチゴ, クハノハイチゴ, ナハシロイチゴ, ハングシヨウ, カキバカンコノキ, シヤリンバイ). *Cladosporium* (サトイモ).

(15) Mucedinaceae 白糸菌科 *Cercosporella* (ヌルデ). *Acrocyllindrium* (イネ). *Piricularia* (ミヨウガ). *Rhinotrichum* (ナハシロイチゴ).

(16) Stilbaceae 東糸菌科 *Isariopsis* (ヤクシマアザミ).

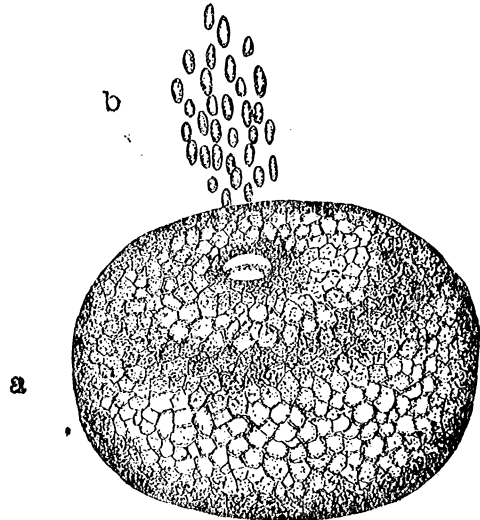
以上16科35属の中新種となつたものは2種ある。その一つはモミジカラスウリ (*Trichosanthes multiloba* Miq.) の葉に寄生する *Uromyces yakushimensis* Hiratsuka, f. et Katsuki. で本菌は近く平塚博士により学術的に報告される予定である。他の一種はウラジロエノキ (*Trema orientalis* Bl.) に寄生する *Phyllosticta* で次のように命名した。

Phyllosticta *Tremae* sp. nov.

Maculis in foliis amphigenis, subcircularibus vel irregulariter rotundatis, abundantibus sparsis, albis, 0.5—1.0mm. diam., nonnumquam cum marginibus late diffusis brunneolis, in paginis superis et inferis similaribus; pycnidiis epiphyllis, raro amphigenis, primo epidermide tectis, dein crumpentibus, dispersis sphaericis vel globosis, aliquando in latera compressis, membranaceis, nigro-brunneis vel brunneolis, 75—87×65—76 μ diam.; ostiolo plano, 7—10 μ diam.; sporulis

baccilliformibus vel rotundatis, utrinque rotundatis, rectis, hyalinis, non septatis, 2.5—5.0×2.5—3.0 μ . diam..

Hab. in foliis *Tremae orientalis* Bl. (Urajiro-enoki). Kojima, Yaku-Insula, Pref. Kagoshima, Japonia (S. Katsuki, 19 Oct., 1949-Typus).



25 a

Phyllosticta *Tremae* sp. nov.

a Pycnidium

b Spores

尙、日本新報知菌としてはムラサキヨモギに寄生する *Cercospora consimilis* Syd. チドメグサに寄生する *Cercospora Hydrocotyles* Ell. et Ev. カエデドコロに寄生する *Cercospora nubilosa* Ell. et Ev. トペラに寄生する *Cercospora Pittospori* Plakidas の4種があるがこれらについては改めて発表の機会を得たい。